

試験を受けるときに注意すること

✓	注意すること
	教室に向かう前に、受験に必要な物を持っているかどうか、親と確認する。
	静かに受験する教室に移動する。 ●受験番号を確認して、教室を探し、正しい席に座る
	必要があれば、トイレをすませておく。
	自分の席に着席したら、受験票、時計、使用が許可されている筆記用具のみ机の上に置く。 ●学校によって机の上に置ける筆記用具が異なるので、その都度確認する
	試験開始まで静かに待つ。 ●問題集やノートを見たり、お守りを見たりしてリラックスする
	試験監督者が来たら、指示に従う。
	試験問題が配られても、不用意に触ったり、開こうとしない。 ●「試験始め」の合図があるまでは、問題集もえんぴつも絶対に触らないこと。カンニングと見なされることがある
	筆記用具や問題・解答用紙などを床に落としても、自分で拾わない。 ●静かに手を挙げて監督者に伝える
	何かあったら、遠慮せずに監督者に伝える。 ●具合が悪い、トイレに行きたいなど、何かあったら監督者に伝える ●途中退席した場合、その後どのような行動を取ればよいのかについては、指示に従う
	試験中はキョロキョロしない。 ●カンニングと見なされることがある
	休み時間はできるだけ気持ちを落ち着かせる。 ●廊下に出たり、トイレに行ったり、許可されているなら飲み物を飲んだり、あめ、チョコ、おにぎりなどを食べたりして過ごす
	大きい声を出したり、騒いだりせず、静かに過ごす。 ●知っている友達がいたりすると、ついつい騒いでしまうので気をつける。試験監督はその様子も見ていることがある
	時計は自分が持参したものを見る。 ●ほとんどの学校で教室に時計があるが、自分の座る位置によっては、横を向いたり、振り向かないと時計が見られない場合がある。カンニングと見られないように、持参した自分の時計を見るようにする